

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **01099122 A**

(43) Date of publication of application: **18 . 04 . 89**

(51) Int. Cl.

G06F 3/14
G06F 3/02
G06F 3/03
G06F 15/00

(21) Application number: **62258069**

(71) Applicant: **NEC CORP**

(22) Date of filing: **12 . 10 . 87**

(72) Inventor: **KURAMOTO TAKASHI**

(54) TERM INTERPRETATION MESSAGE OUTPUT SYSTEM

(57) Abstract:

PURPOSE: To eliminate the investigation of the meaning of a term with a manual, etc., and to improve an operation efficiency by providing a means to message-output the interpretation of the term to a display device.

CONSTITUTION: When the explanation of the term unable to understand the meaning displayed at a display device is to be received, first, a special help key is depressed, the help command is inputted, and thus, the

help function is called and next, the term is designated with a pointing device such as a mouse and a cursor moving key. The explanation of all terms used by the computer is stored into a filing device beforehand, the filing device is retrieved by the designated term and the applicable explanation is outputted to the display device. Thus, since the message to explain the meaningless term is displayed at the display device, the unnecessary confusion of the computer operation due to the shortage of the understanding of the term can be prevented and the operation efficiency can be improved.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio

⑫ 公開特許公報(A) 平1-99122

⑪ Int. Cl. ⁴	識別記号	庁内整理番号	⑬ 公開 平成1年(1989)4月18日
G 06 F 3/14	3 3 0	A-7341-5B	
3/02	3 7 0	A-8724-5B	
3/03	3 8 0	N-7010-5B	
15/00		7361-5B	審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑭ 発明の名称 用語解説メッセージ出力方式

⑮ 特 願 昭62-258069

⑯ 出 願 昭62(1987)10月12日

⑰ 発 明 者 倉 本 高 志 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑱ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

⑲ 代 理 人 弁理士 本庄 伸介

明 細 書

1. 発明の名称

用語解説メッセージ出力方式

2. 特許請求の範囲

コンピュータで使用する用語の説明を記憶している記憶手段と、

前記コンピュータで使用する用語のうちの意味不明な用語の説明を要求する手段と、

前記意味不明な用語をポインティング装置により指定する手段と、

この指定手段により指定された意味不明な用語で前記記憶手段を検索する手段と、

この検索手段により前記意味不明な用語と一致する用語が前記記憶手段に記憶されている場合に、その用語の説明をディスプレイ装置にメッセージ出力する手段とを有することを特徴とする用語解説メッセージ出力方式。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明はコンピュータのマンマシンインタフェースに関し、特に、ディスプレイ装置に表示された用語をユーザに簡単に理解させるためのメッセージを出力する方式に関する。

(従来の技術)

従来、この種のメッセージの出力はヘルプ機能として存在し、コンピュータの操作メニューの内容表示の説明などの操作方法の理解を目的としたものであった。

また、例えば UTILISPのWHAT関数のように、一部には用語を説明するメッセージを出力する機能も存在するが、この機能を利用するには、説明を受けたい用語の文字列をキーボードから入力する必要がある。

(発明が解決しようとする問題点)

上述したように、従来のヘルプ機能で出力されるメッセージは、コンピュータの操作方法をユーザに理解させるためのものであるもので、操作中に

ユーザが理解できない用語がディスプレイ装置に表示された場合に、その理解を補助することはできなかった。そこで、ユーザはわざわざマニュアル等により用語の意味を調べる必要があるため、操作効率を低下させ、操作時間の遅延を招くという問題点があった。

また、用語の説明機能を備えた一部のコンピュータで理解できない用語の説明を受ける場合には、その用語をキーボードから入力しなければならないので、キーボードタッチ数が多くなってしまう。
(問題点を解決するための手段)

上述の問題点を解決するために本発明が提供する用語解説メッセージ出力方式は、コンピュータで使用する用語の説明を記憶している記憶手段と、前記コンピュータで使用する用語のうちの意味不明な用語の説明を要求する手段と、前記意味不明な用語をポインティング装置により指定する手段と、この指定手段により指定された意味不明な用語で前記記憶手段を検索する手段と、この検索手段により前記意味不明な用語と一致する用語が前

定した用語でこのファイル装置を検索し、該当する説明をディスプレイ装置へ出力することにより、本実施例の用語解説メッセージ出力方式の機能を實現する。

また、用語の説明を格納するファイル装置の容量に制限があって全ての用語についての説明を格納することができない場合には、格納できない用語についてはユーザが指定できないようにしてもよい。

(発明の効果)

以上に説明したように本発明は、ディスプレイ装置に表示された意味不明の用語を直接ポインティング装置で指定すると、その説明をするメッセージが同ディスプレイ装置に表示されるので、用語の理解不足によるコンピュータ操作の無用な混乱を防止することができる。従って、コンピュータの操作効率を向上させ、操作時間の短縮を図ることができるという効果がある。

また、コンピュータで動作させるプログラム及びデータの作成者とその利用者との用語の概念が

記憶手段に記憶されている場合に、その用語の説明をディスプレイ装置にメッセージ出力する手段とを有することを特徴とする。

(実施例)

以下、本発明の一実施例について図面を参照して説明する。

第1図は本発明の一実施例の用語解説メッセージ出力方式の動作の流れを示すフローチャートである。

ユーザは、ディスプレイ装置に表示された内容を見て意味の理解できない用語を発見し、その用語の説明を受けたい場合に、まず、本実施例の用語解説メッセージ出力方式を適用したヘルプ機能と呼出す。この呼出しは、特定のヘルプキーを押下したり、またはヘルプコマンドを入力することにより行われる。次に、マウスやカーソル移動キー等のポインティング装置を用いて当該用語を指定する。

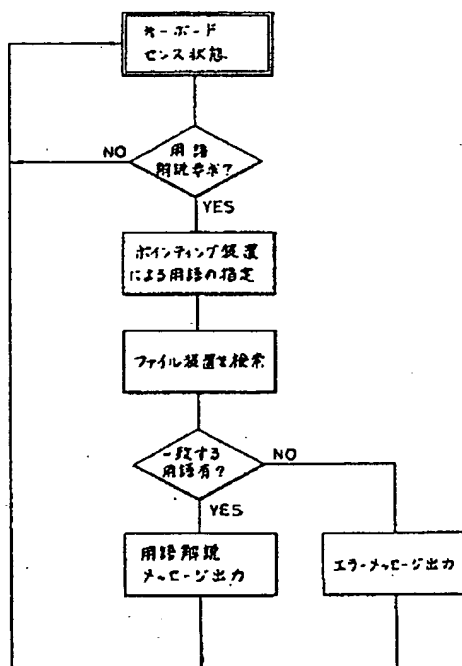
コンピュータで使用される全ての用語の説明は予めファイル装置に格納されており、ユーザが指

一致するので、意志の疎通を促すことができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例の用語解説メッセージ出力方式の動作の流れを示すフローチャートである。

代理人 弁理士 本庄伸介



第 1 図